

全校朝会（生きもの）

2017. 7. 3

6年生に、好きな生き物についてインタビューしました。

先週の休み時間、3年生に「校長先生、動かないトンボがいる。」と言われました。とてもきれいな濃い青色のトンボでした。見たことのないトンボでした。動かないと言われましたが、よく見てみると足が少し動きます。図書室で調べると「オオシオカラトンボ」のオスだということが分かりました。メスは茶色と黄色の混ざったような色で、オスとは違う色です。残念ながら、オオシオカラトンボのオスはやはり弱っていたようで、そのあと動かなくなってしまったようです。3年生が埋めてくれました。どこかで卵を産んでくれていたらいいな、卵か卵から孵ったヤゴが見つかるといいなと思いました。

3年生は今、蚕の幼虫を飼っています。蚕の幼虫は毎日桑の葉をもりもり食べます。教室に見に行くと、シャクシャクシャクシャクと、桑の葉を食べている音がするほどです。昨日見たら4cm くらいになっていました。もう少し大きくなると繭をつくってその中で蛹になります。

生きものって、いいですね。見ているとあきません。5年生はメダカの観察と飼育をしています。メダカのメスは毎日のように卵を産みます。卵をとってあげないと、他のメダカに食べられてしまうので、毎日卵をとるお手伝いをしてくれる人もいます。この卵、生まれてすぐは、中に泡みたいなもの（実は油だと聞きました。）があるのですが、だんだん黒いものが2つできてきて、メダカの目玉になり体ができ、心臓が動いて血液がながれるようになります。そして、11日くらいで小さいメダカが卵から出てきて泳ぎ始めます。大きくなったメダカは、どうしたらいいのでしょうか。校庭の池には大きな鯉がいるからちょっと・・・ですね。理科室の水槽に戻してもいいのですが、もっとみんなに見てほしいと思うので、5年生と一緒に飼う場所を考えていきたいと思います。

メダカには、黒、白、黄色、虹色の4種類の色細胞というのがあって、この組み合わせでいろいろな種類ができるので、今は全部でメダカの種類は200種類くらいあるそうです。黒メダカ、黒メダカの中から黒い色が抜けたオレンジ色のヒメダカ、黒と黄色の色が抜けた白メダカ、白メダカと黒メダカから生まれた青メダカ、オレンジ色でひれが大きくてひらひらしている楊貴妃メダカ、オレンジが少し薄い琥珀メダカなどです。学校にいるのはこの中の黒メダカとヒメダカです。

皆さんの家では昆虫でも魚でも動物でもいいのですが、何か生き物を飼っていますか。私は小学生の頃に家でハムスターと十姉妹という鳥を飼っていました。そのほかに、自分の机のところで、しょっちゅうアゲハの幼虫とアリを飼っていました。アゲハの観察日記は、夏休みの自由研究にもしました。前の学校では、校長室でモルモットを飼っていました。モルモットは、膝の上に載せるとじっとして動かないので、なんだかほっとする生き物です。温かくて心臓が動いているのも分かります。

戸三小でも、みなさんと一緒に、いろいろな生き物と触れ合うことができるといいなと思っています。

最後に、よい歯の表彰状が届いているのでお渡しします。みなさんも、6年生まで虫歯をつくらないでいられるといいですね。